

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 8 No 09

8 6 号

平成12年 9月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

外来小児科学学会に参加して

今回皆様には大変御迷惑をおかけしましたが、学会に出席し有意義な一日を過ごすことができました。全てが初めてで出席前より緊張してしまい、実際の発表では聞き手に上手く内容を伝える事が出来たかを心配しましたが、最後の質疑では的のはずれた質問もなく、ホッとしたのが本音です。アンケートをまとめ統計をとったり、慣れない事ばかりで川村先生には最初から最後まで御指導頂き、改めて川村先生の偉大さを痛感しました。

午後からは「乳児健診及び育児指導におけるスタッフが支援できる工夫について」をグループでディスカッションしました。話し合いの中で、全てにおいて患者さんを否定してはいけない、広い目で周りを見ることが出来るよう私達が少しずつ窓口を広げてあげる事の重要性や、軽い症状で来院した患者さんには「よく気付いたね」と優しく声を掛けるなど、共感したり今までの自分を反省したり、とても貴重な勉強会となりました。

皆様には御迷惑をおかけしてしまおうと思いますが、機会がありましたら是非また参加させて頂き、広い視野で物事を見る事が出来て患者さんに支援出来るよう努めたいと思います。 中米 由美子

今回2日間に渡り、初めての小児科学学会に参加させて頂きました。1日目は「乳幼児個別検診及び育児指導におけるスタッフが支援できる工夫」という会に参加し、お母さん方が疑問に思っていることをパンフレットにするなど、参考になる意見をたくさん聞く事ができました。2日目には、「SIDS(乳幼児突然死症候群)の家族への対応～突然子供を亡くした家族の気持ち本当にわかりますか～」ということで、SIDS家族の会の方々よりお話を聞かせて頂きました。想像も出来ないほどの辛い過去を、私達の為にお話し頂いた事、本当に感謝しています。この会に参加して一番感じた事は、：言葉・態度：というものの怖さや優しさ

でした。ほんの1言で、人を傷つけるには十分なほどの凶器にもなり、逆に傷ついた心への薬にもなるのだということに改めて考えさせられました。人を思いやる気持ちを忘れ



発表中の中米君

ず、様々な気持ちを受け止める事ができる看護婦でありたいと思います。 茂木 玲子

今回大宮で学会が行なわれ、全てが初めてでしかも全国でも有名な「かわむらこどもクリニックのスタッフ」という看板を背負っているような緊張の中で参加してきました。私の直接参加したホテル職員による接遇研修では言葉遣いや挨拶、接客態度など基本的なお話でしたが相手にどんな印象を与えているのかという、自分の言動について改めて見つめ直すいい機会となりました。そしてホテル職員のサービス精神に学んだ目配り、気配り、心配りと温度の伝わる言葉を上手く使える努力が大切だと思いました。二日目のミスやクレームについての討論会では、他の病院の貴重なお話を聞くことができ私は改めて「うちは理解ある患者さんに支えられている」と実感してきました。

この二日間の貴重な体験を活かし、これからの受付事務としての在り方を見直しながらクリニックのもう一つの顔となっていきたいと思います。 三浦 江理子

今回、初めて学会に参加しました。私が想像していた堅苦しいイメージとは違ってとても参加しやすいものでした。ホテル職員による接遇研修では、お客さんとのコミュニケーションは笑顔が大切だということ・接客にあたっては、視線(目と鼻を結ぶ三角形のところ)表情(心からの笑顔)姿勢(背筋はまっすぐ伸ばす)お辞儀(通常30度、すれ違いの会釈15度、最敬礼45度)という態度で臨むと教えてもらいました。待合室で子供を飽きさせない工夫では、季節ごとに壁をディスプレイすること・絵本や紙芝居を読んであげたりすると良いということでした。また、オモチャなどの衛生管理について話し合うこともできました。これからは、少しでも時間を作って季節ごとに壁を飾っていきたくと思いました。この学会で得ることができた事はこれからは活かしていきたいです。福地 あさか

9月のお知らせ

- ・栄養・育児相談
毎週水曜日 13:30 ~
栄養士担当
- ・休日当番
9月24日(日)
9:00 ~ 16:00



読者の広場

一面記事、いきなりの印象記でごめんなさい。本来は休診に対する御理解お礼の上で紹介するのですが、文字数が足りませんでした。今回投書もメールも頂いているので、まず投書から紹介します。青葉区の遠藤さんからいただきました。「院内の温度が、冬が熱すぎて夏は寒すぎる…。と近所のママ友4人。意見が一致しました。ので、本日代表して投書させていただきます。」。小生もそう思っていました。言いわけするわけではありませんが、この投書をきっかけとして、小まめに温度調節をしていきたいとています。人それぞれ感じ方が違うものですから、御遠慮なく「暑い」、「寒い」とおっしゃって下さい。ありがとうございました。次は電子メールで青葉区の七尾さんから頂きました。「いつもお世話になっている七尾裕太の母です。日頃からお世話になり、早くお礼を申し上げなくてはとずっと感じておりました。最近、やっと不慣れながらPCを扱えるようになりましたのでお便り致します。殊に5月末に肺炎で入院する前は本当によくして頂いて有難うございました。あの頃は今まで大病をしたことのない息子が日を重ねても良ならず、私の方も精神的にかなりまいっていました。そんな時に先生や看護婦さんに「大丈夫！お母さんがよくなると思わないとダメだよ！」「できることは全部しているからね。」と励まされ、心強く思ったものです。退院後も風邪をひくことが多く、ひきつけを起こしたり咳が長引いたり、心配性な私の不安も増大するのですが、先生なら納得いくまで説明して下さいるので、お忙しいのに申し訳ないと思いつつ、色々質問してしまいます。(本当にすみません！)先生の所に来るまでは、診察室に入るのも「こわいよ～」と泣き叫んでいた息子、今では「先生に電車を教えてあげるんだ。」と言って本を用意していくまでに変貌しました。これからも何かとお世話になるとは思いますが、お忙しい先生こそ無理をなさらず、お体ご自愛下さいますように。そして、我が家のホームドクターでいてください。それでは失礼いたします。」。新幹線大好きな裕太君に絵も送ってもらったので紹介します。ありがとうございました。



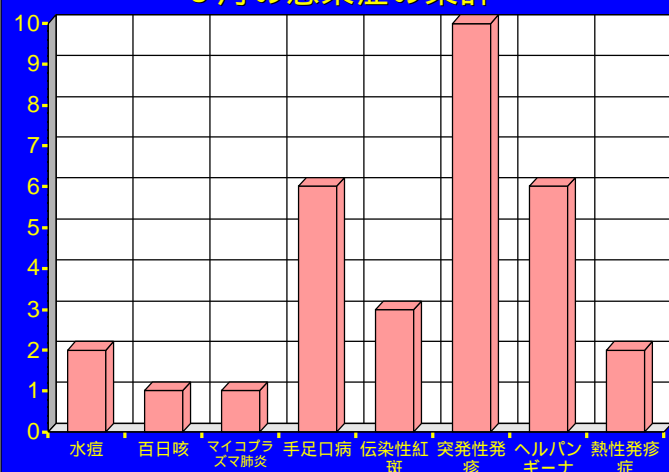
他に青葉区の遠藤さんからはホームページの感想、白石に転居した佐藤さんからは病気の相談とお礼のメールを頂きました。皆さん、ありがとうございました。



第4回 お母さんクラブのお知らせ

8月の『お母さんクラブ』はお休みですが、第4回の集まりを 9月21日(木)、福沢市民センターで開催します。昨年好評だった「子どもの救急」をもう一度取り上げたいと思います。講師は消防署勤務の鎌田さん(患者さんのお父さん)です。講義だけでなく、実際にダミー(蘇生用のお人形です)を使った救急蘇生の体験もできます。皆さんの参加をお待ちしています。

8月の感染症の集計



先月は暑かったわりには、お盆や夏休みがあったせいか夏風邪は、かなり少なくなりました。今年に入って2例目ですが、百日咳がまた見られました。三種混合未接種で、咳が長く続くときは要注意です。水痘など全体的に減っています。近くの保育園で、麻疹がありました。百日咳や麻疹、市内では出ているようです。早めの予防接種を。

ポリオ予防接種のお知らせ

10月にポリオの予防接種があります。4

月に副反応が見られましたが、安全性が確認され予定通り実施されます。対象者は次の通りです。予定を立てておきましょう。詳しい日程表は、対象者には配付しています。(日程については、来月号に載せます)

- 第1回 平成12年1月1日～6月30日生れの児
 - 第2回 平成12年4月に1回目の投与を受けた児
 - その他 投与を延期していた90ヶ月までの児
- 院長は、10月31日(火)青葉区保健福祉センター

が、接種担当日です。都合のつく方は、当日おいで下さい。他の区や住所でも、当日予防接種が受けられます。会場で待っています。

編集後記

夏休み、学会参加とお休みして、御迷惑をおかけしました。この学会は学問的なことはもちろん、よいクリニック作りなども考えています。一面にもあったように、これからの診療に生かしていきたいと思っております。御協力ありがとうございました。

